

伊勢湾台風 60 年

天文部

台風 15 号（伊勢湾台風）が昭和 34 年（1959 年）9 月 26 日（土）に東海地方に上陸してから、今年で 60 年が経ちました。熱田高校は被災し、同時に避難所になりました。当時の様子は校誌熱田第 7 号（昭和 35 年 3 月 31 日発行）に残されています。熱田高校ができて 6 年目の年、体育館についてはこの年に完成したばかりでした。

私たち天文部は、熱田高校が再び台風災害に見舞われることを想定して、当時の状況を思い起こしてみることにしました。今年の学校祭で展示したポスターに基づいて、以下に、当時と現在を比較した写真を掲載します。校誌熱田に記された災害記録についても、PDF ファイルにして添付します。

【当時】

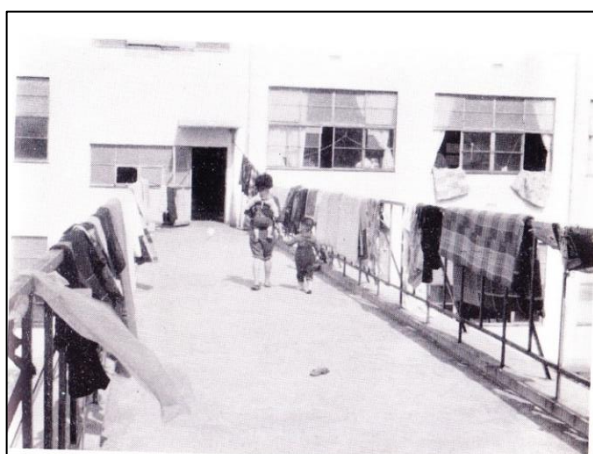


復旧作業
玄関前に池がありました。

【現在】



玄関前



被災者風景



二棟と三棟の間の渡り廊下（3階）



校舎南側浸水風景



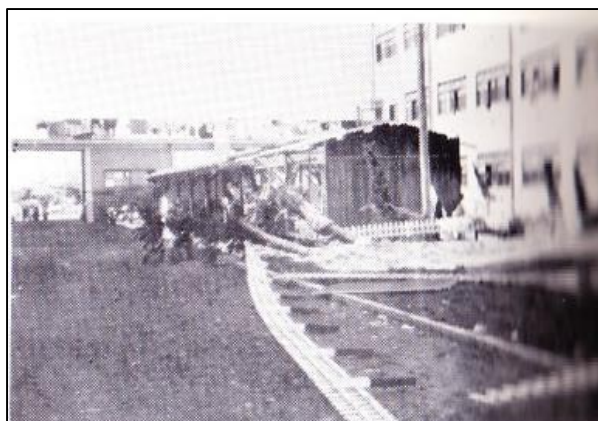
現在は図書館や音楽室の部分が増築されていて、この場所から天文台のある二棟は見えません。



ヘドロで真黒な二棟廊下



突き当りは生物教室



中庭の惨状



自転車置き場と部室



玄関前被災者風景



玄関前



へドロ洗い



一棟と二棟の間の通路（1階）
右側に購買があります。



長期浸水した学校附近
体育館は現在の多目的コートに
ありました（写真右奥の建物）。



物理教室から撮影



昇降口



復旧作業打合せ



朝礼台は現在も使われています。



講堂の椅子洗い



水道も当時のままです。



体育館もヘドロで真黒



泥沼の校庭を行く被災者